

NEWS RELEASE

「Brilliant60s＝輝ける 60 代」2,000 人に聞いた「シニアのリアル調査」結果より
今どきシニア、子や孫の帰省費用をしっかりと用意。「お盆玉」も浸透。
～子や孫が帰省する際の交通費に平均 31,900 円～

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：馬場信輔、本店：東京都千代田区）は、日本の 60 代を中心とするチャレンジ精神旺盛でアクティブな世代を「Brilliant60s＝輝ける 60 代」と名付け、ポジティブな人生をおくるサポートをすべく、シニア層のお客さまへの資産運用コンサルティングに注力しております。

あおぞら銀行では、この Brilliant60s 世代に注目し、コアとなる全国の 55～74 歳の男女約 2,000 名を対象にした「シニアのリアル調査」を 2014 年から毎年実施しております。今年で 4 年目を迎えた最新の調査では以下のような結果が出ました。

<調査結果概要（詳細は別紙のとおり）>

1. お盆のお小遣い「お盆玉」、3 割のシニアに浸透。前年の 2 割弱から大幅上昇。

～「お盆玉」をあげるシニアの平均は 5,900 円～

- ★「お盆玉」（※お盆の時期に、子や孫にあげるお小遣いのこと）という言葉を知っているシニアは 28.9%（男性 25.6%/女性 32.1%）と 3 割近くで、前年の 16.6%から 10 ポイント以上上昇した。
- ★今年「お盆玉」をあげる予定の人は 31.6%(前年比 0.5 ポイント減)、その予定金額は 5,900 円で前年とほぼ同額となった(前年比 200 円増)。男女で比較すると男性 6,100 円(前年比 600 円増)、女性 5,700 円(前年比 100 円減)と男女の金額が前年から逆転した。

2. 今どきシニア、子や孫の「帰省支援」が定着。半数が帰省の交通費を負担。

～負担する交通費は平均 31,900 円、帰省中の支援額は平均 46,100 円～

- ★「帰省してくる子や孫がいる」と答えた割合は 63.1%(前年比 2.4 ポイント減)。そのうち、約半数が「帰省にかかる交通費を負担している」と回答し、平均負担額は 31,900 円(前年比 1,000 円減)。
男女別では、男性シニアは 32,500 円(前年比 2,800 円増)、女性シニアは 31,400 円(前年比 3,900 円減)と、男性シニアが 1,100 円女性シニアを上回る結果となった。
- ★子や孫が帰省した際に使う金額（交通費以外）は平均 46,100 円(前年比 3,600 円減)で、男性シニアは 45,100 円(前年比 3,100 円増)、女性シニアは 47,000 円(前年比 9,400 円減)と、その差は約 2,000 円となった。

3. 今どきシニア、孫へのビッグな贈り物「ランドセル」の相場は 5 万円台。

- ★ランドセルの平均購入金額は 50,400 円。最も多いのが「5 万円～6 万円未満」の 31.2%、2 番目が「6 万円～7 万円未満」と「7 万円～8 万円未満」の 14.3%（同率）と、「5 万円以上」が 7 割程度と集中する結果となった。
- ★購入月で比べてみると 1 月が最も多く、23.1%、続いて 3 月が 12.8%、夏休みシーズンの 8 月も 10.8%と 3 番目に高い結果となった。

以上

（報道関係のお問い合わせ先：経営企画部（広報担当）後藤 03-6752-1217）

あおぞら銀行「シニアのリアル調査」2017

【調査目的】

シニアの方々の暮らしぶり・老後の意識・資産運用・旅行や外食・趣味・お子さまやお孫さまについてなど、様々な視点からお金に関連する実態やその意識を調べる。

【調査対象者】

全国 55～74 歳の男女 合計 2,070 人

【調査内容】

インターネット調査 2017年6月14日(水)～2017年6月16日(金)実施

【金融資産背景】

当調査対象者の平均金融資産額：50代後半 1,654万円、60代 2,092万円、70代前半 2,317万円

一般(二人以上の世帯)の平均金融資産額^(*)：50代 1,650万円、60代 2,202万円、70歳以上 1,963万円

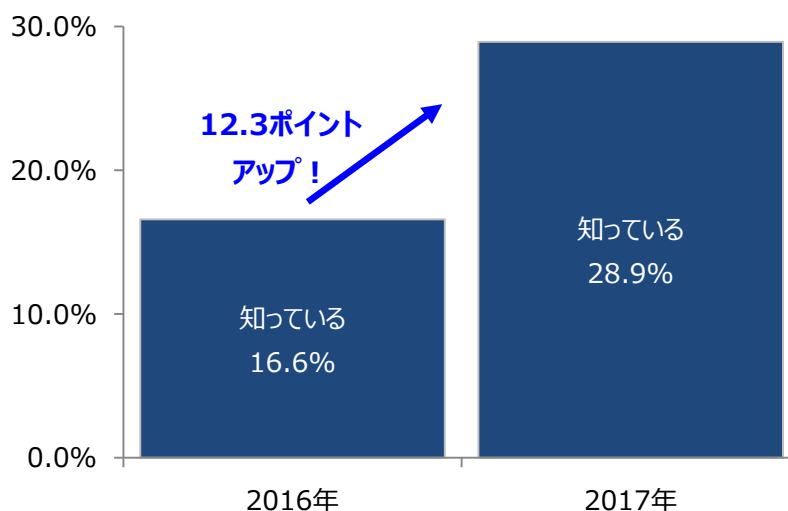
(*)出典：2016年金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」調べ

<調査結果詳細>

1. お盆のお小遣い「お盆玉」、3割のシニアに浸透。前年の2割弱から大幅上昇。

質問：「お盆玉」という言葉を知っているか？

【図1】「お盆玉」を知っている 前年比 (対象者全体)



「お盆玉」(※お盆の時期に、子や孫にあげるお小遣いのこと)という言葉を知っているかの質問に、知っていると答えたのは28.9%(男性25.6%/女性32.1%)だった。その内訳は「『お盆玉』を知っていて、あげたことがある」6.3%、「『お盆玉』という言葉は知っているが、あげたことはない」22.7%であった。

一方で「『お盆玉』という言葉は知らないが、お盆の時期に子や孫にお小遣いをあげたことがある」と答えているシニアが7.5%おり、「『お盆玉』を知っていて、あげたことがある」6.3%と合わせると、今どきシニアの13.8%が「お盆玉」をあげたことがある(【図1】参照)。

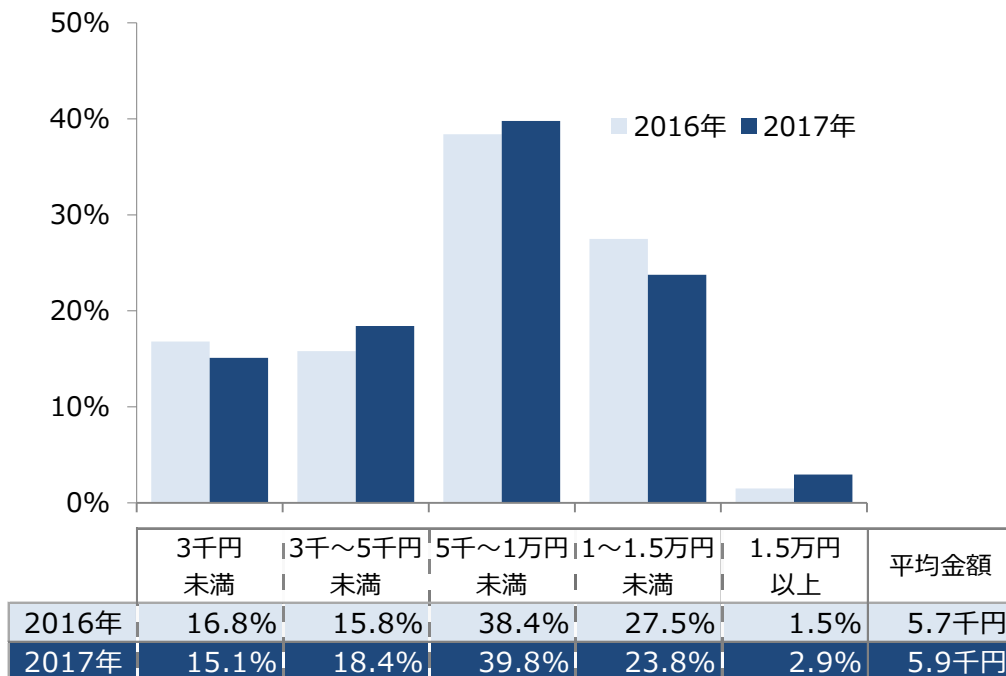
- ・「お盆玉」を知っている：28.9% 「知っていて、あげたことがある+知っているが、あげたことはない」
- ・「お盆玉」を知らない：71.1% 「知らないが、あげたことがある+知らないし、あげたこともない」

～「お盆玉」をあげるシニアの平均は 5,900 円

男性シニアの方が女性シニアより 400 円高く、関東の方が関西に比べて 500 円高い～

質問：「お盆玉」をひとりあたり、いくらあげ予定か。

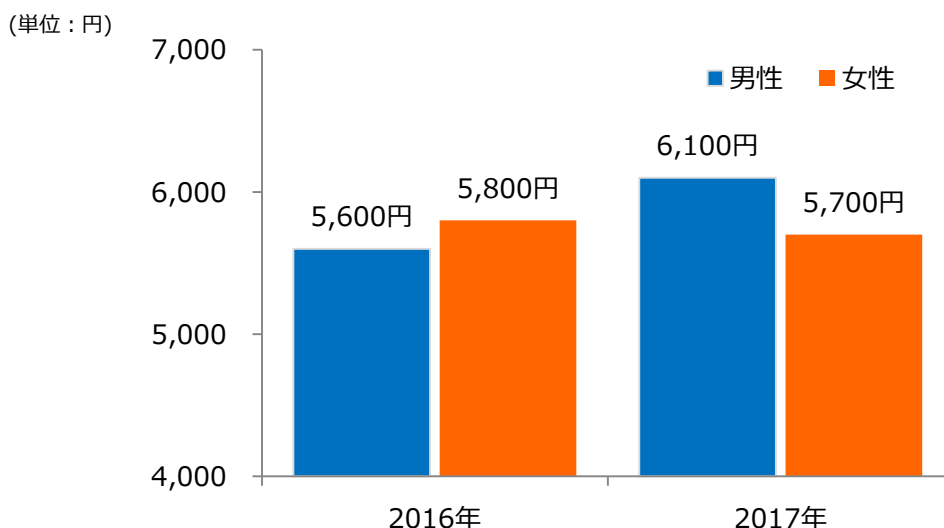
【図 2】「お盆玉」の予定金額（対象：子や孫がいるシニア／「0 円」という回答を除いた平均金額）



※本調査結果の数字は少数第 2 位を四捨五入しているため合計が 100%にならない場合があります。

今年「お盆玉」をあげる予定の人は 31.6%で前年から 0.5 ポイント微減。予定金額（子や孫がいるシニアを対象／「0 円」という回答を除いた平均金額）は、5,900 円で前年の 5,700 円から 200 円上昇。金額の分布を見ると、今年も前年もほぼ同傾向で、「5 千円～1 万円未満」が 39.8%と集中している（【図 2】参照）。

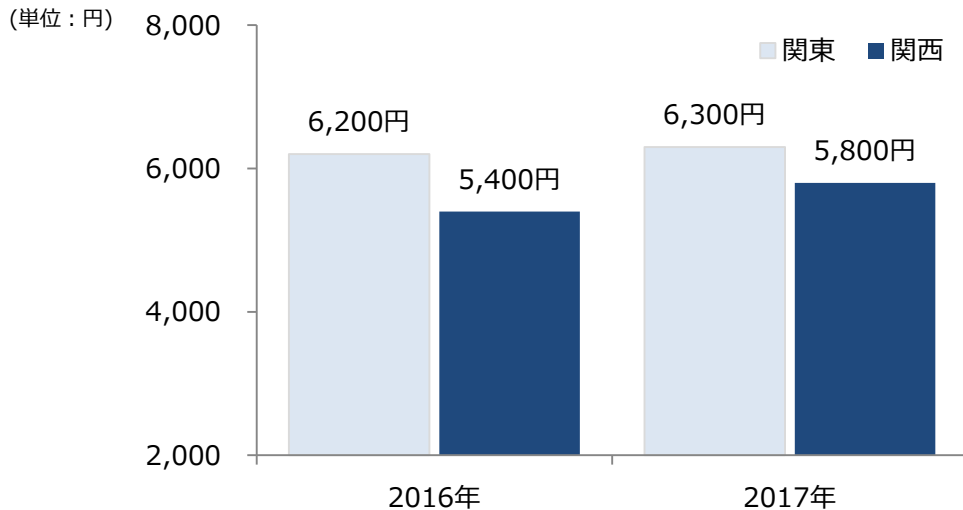
【図 3】「お盆玉」の平均額推移～男女比較 <2016 年～2017 年>



「お盆玉」の平均額を男女で比べると、男性シニアが前年の 5,600 円から 6,100 円に上昇する一方で、女性シニアは前年の 5,800 円から 5,700 円に微減し、今年は男性シニアが女性シニアを逆転した（【図 3】参照）。

- ・全体平均予算（55 歳～74 歳）：**5,900 円（前年比 200 円増）**
- ・男性平均予算（55 歳～74 歳）：**6,100 円（前年比 500 円増）**
- ・女性平均予算（55 歳～74 歳）：**5,700 円（前年比 100 円減）**

【図4】「お盆玉」の平均額推移～関東・関西比較 <2016年～2017年>



関東と関西を比べると、前年と同水準で、関東の方が関西に比べて500円高かった（【図4】参照）。

・**関東平均**（東京、神奈川、埼玉、千葉）：**6,300円(前年比100円増)**

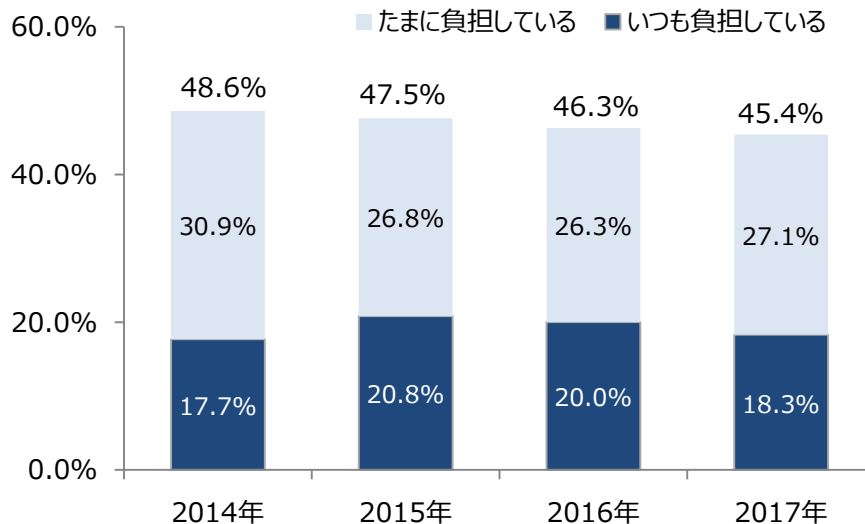
・**関西平均**（大阪、京都、兵庫、奈良）：**5,800円(前年比400円増)**

2. 今どきシニア、子や孫の「帰省支援」が定着。半数が帰省の交通費を負担。

～負担する交通費は平均31,900円、帰省中の支援額は平均46,100円～

質問：子や孫が帰省してくる時に交通費を負担しているか？

【図5】「負担派」の推移（対象：各年の帰省する子供・孫がいるシニア）



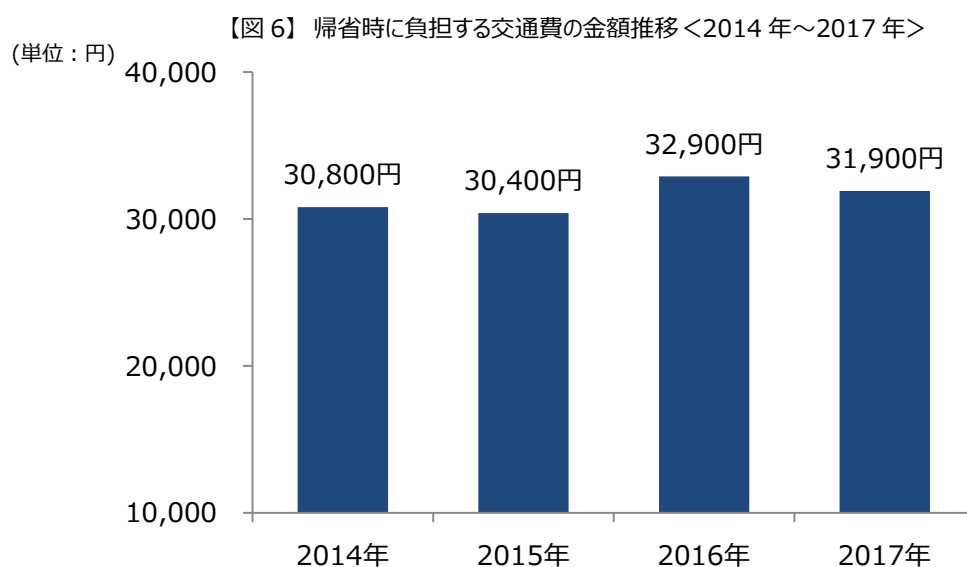
「帰省してくる子や孫がいる」と答えた割合は63.1%（前年比2.4ポイント減）。そのうち、子や孫が帰省する時に交通費を負担している「負担派」シニアは45.4%で、約半数が負担しているという結果になった（【図5】参照）。

・**負担派**：**45.4%**（前年比0.9%減） 「いつも負担している＋たまに負担している」

・**非負担派**：**54.6%**（前年比0.9%増） 「負担していない」

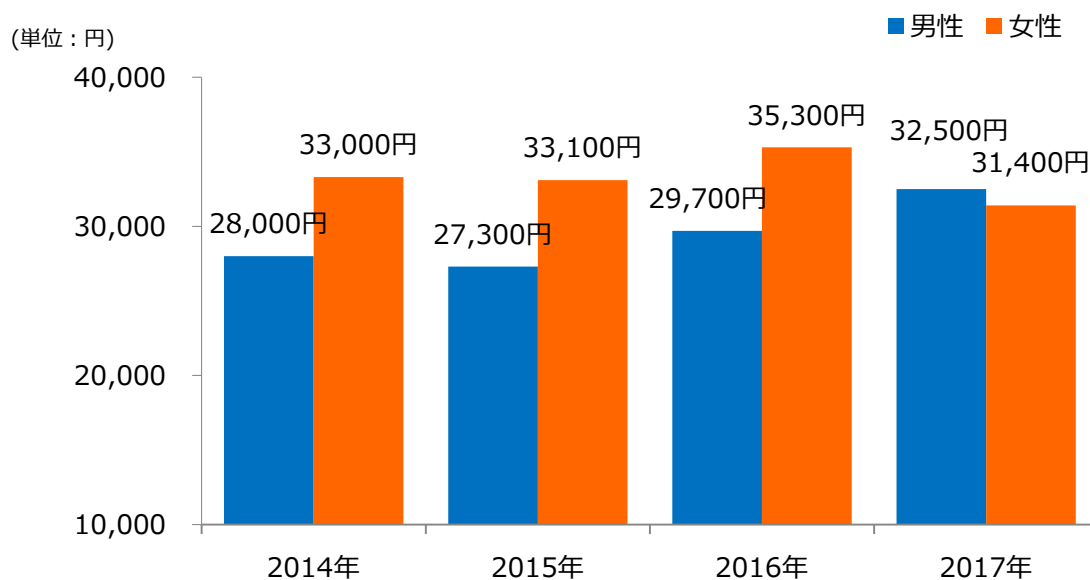
～帰省の交通費「負担派シニア」の平均は 31,900 円～

質問： 子や孫の帰省時に交通費をいくら負担しているか？



「負担派」シニアひとりあたり、子や孫が帰省する時に負担している交通費の平均は 31,900 円。2016 年に 32,900 円と 2015 年から 2,500 円上昇したが、今年は 1,000 円低下した (【図 6】参照)。

【図 7】 帰省時に負担する交通費の男女別平均額推移 <2014 年～2017 年>



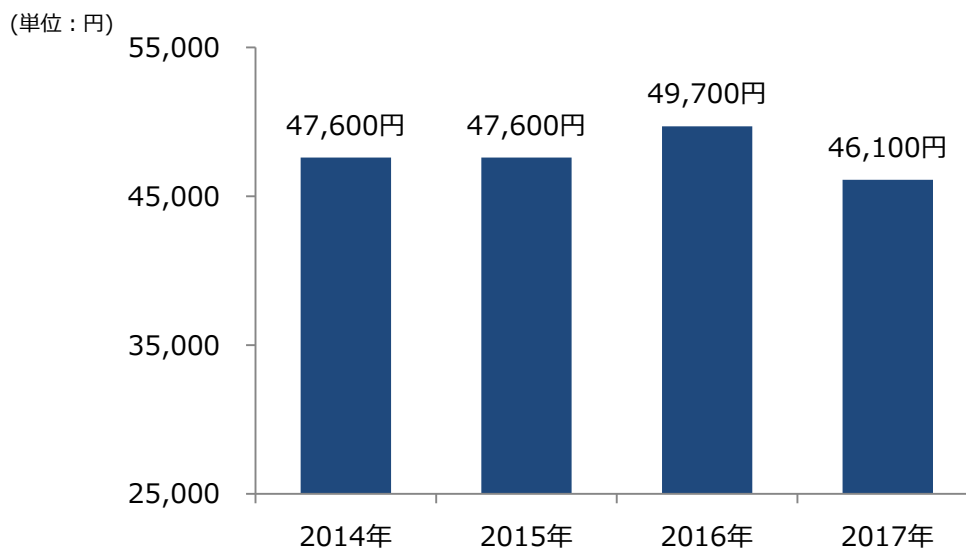
男女別では、男性シニアの平均が 32,500 円に対し女性シニア 31,400 円と、男性シニアの方が平均で 1,100 円多くお金を使っている (【図 7】参照)。

- ・全体平均予算 : 31,900 円 (前年比 1,000 円減)
- ・男性平均予算 : 32,500 円 (前年比 2,800 円増)
- ・女性平均予算 : 31,400 円 (前年比 3,900 円減)

～帰省中も子や孫へは負担を惜しまない！その額平均 46,100 円
女性シニア 47,000 円・男性シニア 45,100 円と男女差が縮まる～

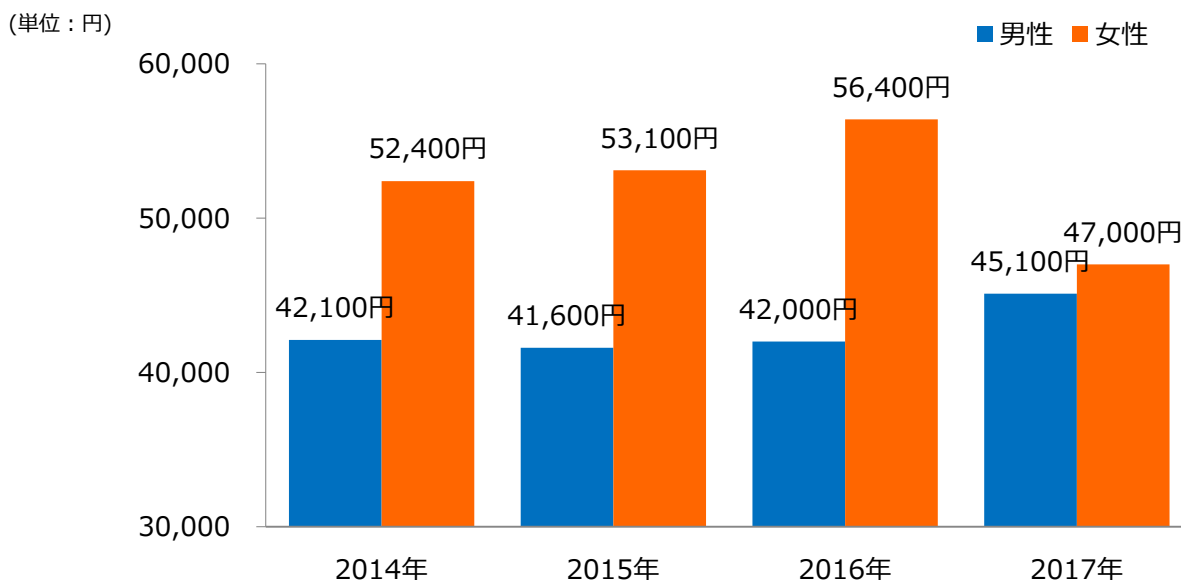
質問：子や孫の帰省時の交通費以外の負担額は？

【図 8】子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）の金額推移＜2014 年～2017 年＞



「今年、子どもや孫が帰省するシニア」について、子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）は平均 46,100 円。2016 年に 49,700 円と 2015 年から 2,000 円以上上昇したが、今年は 3,600 円低下した（【図 8】参照）。

【図 9】子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）の男女別平均額推移＜2014 年～2017 年＞
(対象：今年の子どもや孫が帰省するシニア)



男女別では、今年男性シニアが上昇し 45,100 円になった。一方で女性シニアは前年から大幅に低下し 47,000 円となり、男女シニアの金額差が 2,000 円以内に収まった（【図 9】参照）。

- ・全体平均予算 : 46,100 円 (前年比 3,600 円減)
- ・男性平均予算 : 45,100 円 (前年比 3,100 円増)
- ・女性平均予算 : 47,000 円 (前年比 9,400 円減)

3. 今どきシニア、孫へのビッグな贈り物「ランドセル」の相場は5万円台。

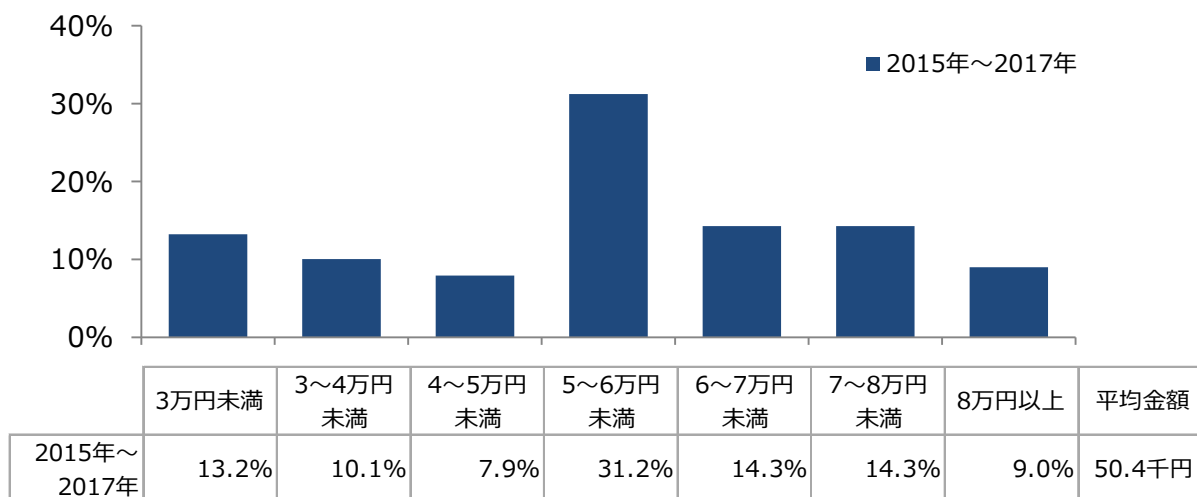
質問：孫にランドセルを購入した金額と購入月

【図10】過去3年のうちランドセルを購入した割合<2015年～2017年の3年間計>
(対象：孫がいるシニア)



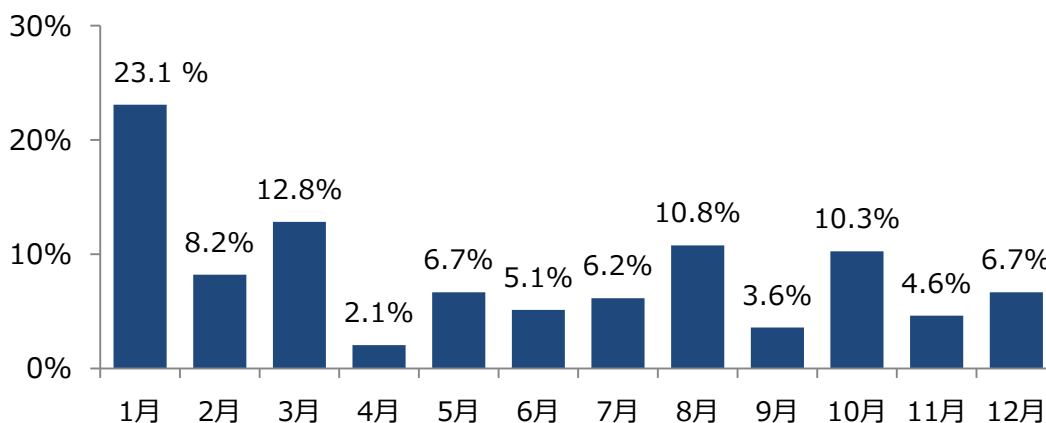
今年と過去2年の計3年の中で、入学を控えた孫にランドセルを購入したかどうかを聞いたところ、孫がいるシニアのうち21.1%が購入していた（【図10】参照）。

【図11】過去3年のランドセルの平均購入金額の分布<2015年～2017年の3年間計>



購入金額の平均は50,400円。「5万円～6万円未満」が31.2%と最も多く、続く「6万円～7万円未満」と「7万円～8万円未満」の14.3%（同率）と「5万円以上」が7割程度と集中する結果となった。（【図11】参照）。

【図12】過去3年のランドセルの購入年月<2015年～2017年の3年間計>



※過去3年内に購入したことがある回答者の累積のため、重複している場合があります。

購入した月を聞くと、1月が23.1%と特に高くピークと言える。次いで3月が12.8%、8月が10.8%という結果となった。（【図12】参照）。

以上